

“大切な花”を咲かせよう



子どもの発達支援センター つつじが崎学園

保育所等訪問支援通信NO. R5-1

桜が綺麗に咲き誇る中、わくわく・ドキドキの新年度がスタートしました🌸新年度となると何かと不安が付き物だと思いますが、今年度も先生方やお友達のサポートをさせていただきますので、一緒に頑張っていきましょう👏1年間どうぞよろしくお願い致します😊今年度の通信のテーマは『発達障害の子どもの自己肯定感を高くむ』です🌟“特性の出方は人それぞれ。得意をつぶさず、長所に気づいて伸ばす方法”について一緒に考えていけると良いなと思っています。日々の保育の中にもすぐに活かせるような内容もありますので、参考にしていただけると嬉しいです🌟



はじめに

発達障害のある子は、その特性から対人関係が苦手だったり、得意、不得意が極端に偏っていたりします。学校生活が始まり、多くの人と集団で生活するようになる思春期に、問題となって現れます。できないことが増え、仲間が作れず、努力では改善できないことに戸惑い、苦しみ、強いストレスを感じます。やがて「みんなはできるのに自分はダメだ」と自己肯定感が低下していくのです。こうした困難を避けるには、「自分はそのままで大丈夫」という自己肯定感を持たせることです。親や周囲の大人がその子の存在を認め、関心・興味を尊重し、夢を持たせれば、将来が開けていきます。子どもは夢を持つと、辛いことを乗り越える勇気を得ます。自立を促しながら、子どもが自分らしく輝けるようにサポートしていきましょう。

子どもの自己肯定感を高めれば、将来のつまづきを防げる！

身体的な訴え

頭痛や肩こり、腰痛、疲れ、だるさといった身体的な不調を訴える。



かんしゃく・反抗

苛立ちや怒りを衝動的に表現する。特にADHDの場合は、衝動性が高い傾向があるため、癇癪を起こしやすい。

通園先でのトラブル

友達付き合いでトラブルを起こす、また学習についていけない。その結果行き渋りに繋がる。

こんなことはありませんか？
(子ども編)



睡眠のトラブル

睡眠サイクルが乱れて、朝起きられなくなる。睡眠サイクルが乱れることで、注意・集中力が低下したり、生活リズムが崩れたりして、不登校の原因になることも。

家のなかでの変化

辛いことが続き、自己肯定感が低下。自分を否定するような態度を見せたり、現実逃避してゲームに没頭したりする。

「ダメ」「どうしてできないの」

否定の言葉が子どもを追い詰める

親や周囲の大人の言動で発達障害のある子が追い詰められてしまうことがあります。できないことをとり上げて叱り続けたり、うとましい気持ちを感情的にぶつけたり、逆に無視したり…。子どもは投げやりな態度で自己否定するようになります。

過干渉・暴力

心配のあまり干渉しすぎる。先回りしてやってしまう。暴力によって子どもの行動を制約しようとする。子どもを委縮させ、やる気を奪うことになる。

家族の機能不全

家庭は唯一安心して過ごせる場所。家族の機能が不全だと、当然子どもにも悪影響が及ぶ。

こんなことしていませんか？
(大人編)



無関心な対応

手助けが必要なのに、無視したり、見て見ぬふりをしたり。困惑した表情を見せる、発達障害を理解していない。子どもを孤立させてしまう。

参考図書：『発達障害の子どもの自己肯定感を高くむ本』小児精神神経科医 どんぐり発達クリニック院長 宮尾益知 監修
子ども達は自分の感じているストレスを大人にも分かってほしくて、様々なサインを出しています。“いつもと違う”“普段はこんなことしない”等、少しでもサインを感じ取った際は、その背景を見つめ直すチャンスかもしれません。そんなときは、いつでも訪問支援員にご相談ください。又、各市町の保健師さんに相談することも、おすすめです★
自己肯定感を失うと、うつ病・不安障害等の二次障害に繋がってしまいます。二次障害を起こさない為には、『自分のままでいても良いという感覚』を持ち続けることが大切なのです。“なぜ二次障害を回避しなければならないのか”ということについて、次回の通信でお話していきます。



吉岡かよ

休日の過ごし方⇒娘と一緒に
お買い物😊そうじ！
一言⇒出会いを大切に♡笑
しい1年にしていきたいです



大柴知子

休日の過ごし方⇒映画館
に行く！楽器演奏する！
一言⇒“楽しい支援”をモ
ット頑張ります！



依田由佳

休日の過ごし方⇒お買い物
👜や映画鑑賞👓
一言⇒“話し易い支援員”
を心掛けています！



武藤理紗

休日の過ごし方⇒家でゆ
っくり過ごす👒パズル🧩
一言⇒安心を届けられる
支援をしていきたいです！

児童発達支援センター つつじが崎学園
地域支援事業部 保育所等訪問支援
〒400-0013

山梨県甲府市岩窪町614番地

Tel 055-251-7678

Fax 055-251-7679

Mail yoda@tutujui.or.jp

担当：吉岡かよ 武藤理紗 大柴知子 依田由佳